

## 令和５年度 保健体育科 「保健」 シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 1 年 A～G 組
教科書	新高等保健体育（大修館書店）	副教材等	図説新高等保健（大修館書店）

## 1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習の過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・技能を次のとおり育成する。

（１）個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

（２）健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

（３）生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	(1) 現代社会と健康	(ア) 健康の考え方 ア. 国民の健康課題 イ. 健康の考え方と成り立ち ウ. 健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくり	<現代社会と健康> 1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択 5 現代における感染症の問題 6 感染症の予防 7 性感染症・エイズとその予防 8 生活習慣病の予防と回復 9 身体活動・運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。</li> <li>・資料などで調べたことを基に、課題を見付けたり整理したりするなどして、それらを説明している。</li> <li>・学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどして、それらを説明している。</li> </ul>
	5		(イ) 現代の感染症とその予防		
	6		(ウ) 生活習慣病などの予防と回復		
	7		(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ア. 喫煙、飲酒と健康 イ. 薬物乱用と健康		
	8		(オ) 精神疾患の予防と回復 ア. 精神疾患の特徴 イ. 精神疾患への対応		
	9			第2回考査（9月）	授業への取り組み状況 提出物・レポート 定期考査・小テスト

・知識だけでなく、健康を保持増進するための適切な意志決定と行動選択ができるようになることを目指します。学校生活や家庭生活で実践できるように身につけてください。 ・欠席せずに授業に真面目に取り組んでください。 ・教科書、副教材は毎時間必ず準備してください。 ・課題等の提出等は期限を守ってください。				学習内容や学習活動	評価の材料等
後 期	11	(2) 安全な社会生活	(ア) 安全な社会づくり ア. 事故の現状と発生要因 イ. 安全な社会の形成 ウ. 交通安全  (イ) 応急手当 ア. 応急手当の意義 イ. 日常的な応急手当 ウ. 心肺蘇生法	1 3 喫煙と健康	
				1 4 飲酒と健康	
				1 5 薬物乱用と健康	
				1 6 精神疾患の特徴	
				1 7 精神疾患への対応	
後 期	12	(2) 安全な社会生活	(ア) 安全な社会づくり ア. 事故の現状と発生要因 イ. 安全な社会の形成 ウ. 交通安全  (イ) 応急手当 ア. 応急手当の意義 イ. 日常的な応急手当 ウ. 心肺蘇生法	<安全な社会生活>	
				1 事故の現状と発生要因	
				2 交通事故防止の取り組み	
				3 安全な社会の形成	
後 期	1	(2) 安全な社会生活	(ア) 安全な社会づくり ア. 事故の現状と発生要因 イ. 安全な社会の形成 ウ. 交通安全  (イ) 応急手当 ア. 応急手当の意義 イ. 日常的な応急手当 ウ. 心肺蘇生法	4 応急手当の意義と救急医療体制	
				5 心肺蘇生法	
				6 日常的な応急手当	
後 期	2	(2) 安全な社会生活	(ア) 安全な社会づくり ア. 事故の現状と発生要因 イ. 安全な社会の形成 ウ. 交通安全  (イ) 応急手当 ア. 応急手当の意義 イ. 日常的な応急手当 ウ. 心肺蘇生法	第4回考査(3月)	
				※学習する内容は全員同じですが、担当者により学習内容の進め方の順番が変わることもあります。	
				※実習を行う場合もあります。	
後 期	3	(2) 安全な社会生活	(ア) 安全な社会づくり ア. 事故の現状と発生要因 イ. 安全な社会の形成 ウ. 交通安全  (イ) 応急手当 ア. 応急手当の意義 イ. 日常的な応急手当 ウ. 心肺蘇生法	※授業の中で小テストを実施したり、プリントやノートなどの提出をしたりする場合があります。	

### 3 評価の観点

知識・技能	現代社会と健康や安全な社会生活について理解を深めているとともに、自他や社会の健康課題を発見したり、解決方法を考えたりするための知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会における自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

### 4 評価の方法

・知識・技能の観点は、定期考査及び小テストの点数等をもとにして評価する。 ・思考・判断・表現の観点は、レポートなどの提出物の内容、定期テスト及び小テストの点数等をもとにして評価する。 ・主体的に学習に取り組む態度の観点は、授業への参加状況、課題の実施内容、提出物の実施状況、発表等をもとにして評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

・知識だけでなく、健康を保持増進するための適切な意志決定と行動選択ができるようになることを目指します。学校生活や家庭生活で実践できるようになってください。 ・欠席せずに授業に真面目に取り組んでください。 ・教科書、副教材は毎時間必ず準備してください。 ・課題等の提出等は期限を守ってください。
---